

ライアン・ガンダー個展  
 「アイムジャストレストティング マイアイズ  
 (ちょっと目を休ませてるだけなんだ)」  
 2023年7月15日～開催  
 Press Release 2023年5月22日

—2023年夏の特別展

醤油製造蔵や市民銀行として使われた明治の歴史的建造物「福岡醤油ギャラリー」で  
 東京・大阪でも人気を博したライアン・ガンダーの個展  
 夏休みにあわせて中四国初開催！



本展に出品される新作ライトボックス作品

《Épater la bourgeoisie (Southerly views from all the windows in the artist's library)》※日本初公開 2023

© Ryan Gander; Courtesy the artist, TARO NASU. Photograph by Ryan Gander Studio

歴史的建造物「旧福岡醤油建物」を改修して2021年に誕生した文化施設「福岡醤油ギャラリー」。先鋭的な現代アート展のみならず地域と共にSDGsに関するプログラムを開催するなど、岡山から世界に向けての発信・交流拠点となっています。この度、ここ「福岡醤油ギャラリー」でチームラボ、ピエール・ユイグに続く3回目として、2023年7月15日(土)～11月26日(日)に、イギリス出身のコンセプチュアル・アーティストライアン・ガンダーによる「ライアン・ガンダー アイムジャストレストティング マイアイズ(ちょっと目を休ませてるだけなんだ)」を開催します。

ガンダーは彫刻、映像、アパレルデザイン、建築、絵画、出版物からパフォーマンスに至るまで、さまざまな形で具現化された多面的な作品を通じて世界中で高い評価を得ており、日本国内では、国立国際美術館(大阪・中之島、2017年)の個展で2.6万人、東京オペラシティアートギャラリー(東京・新宿、2022年)の個展で2.1万人超の来場者数を記録するなど、国内でも非常に注目されています。

本展では、石川コレクションの作品と新作を含めた10数点の作品を出展予定、その大部分を暗闇の中で作品を鑑賞する展示室にて展示します。また初日にはガンダー本人が来日しての鑑賞ツアーを開催します。個性的な歴史的建築空間のなかでガンダーが見せる世界観とあわせ、1日1組だけ宿泊できるアートホテル「A&A(Artist&Architect)」、日本三名園のひとつである岡山後楽園、そして瀬戸内エリアに広がるさまざまな観光スポットとともに回遊を楽しめます。

### みどころ

#### ライアン・ガンダーの最新作、日本初公開の新作3点を公開！

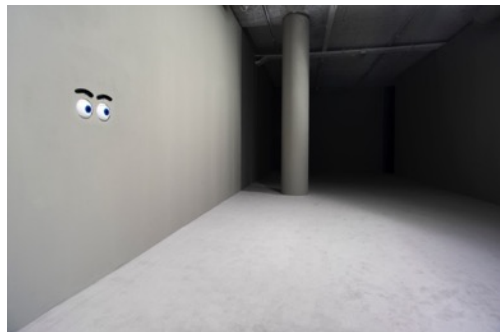
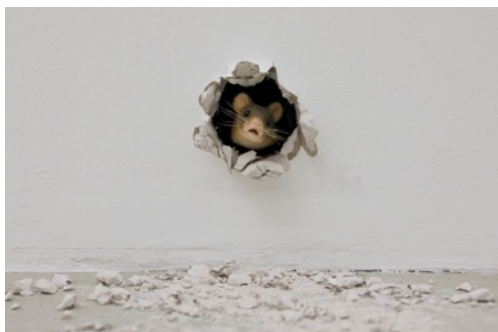
窓からの景色をとらえた漫画や写真ばかりを、ガンダーが持っている書籍から集めた新作ライトボックス作品《Épater la bourgeoisie (Southerly views from all the windows in the artist's library)》、コンピューターアルゴリズムによって25年先の日付と時刻が印字されたチケットが出てくる券売機作品《A machine to send you some place else》など、ガンダーの遊び心が濃縮された3点の新作を日本初公開します。



《Épater la bourgeoisie (Southerly views from all the windows in the artist's library)》※日本初公開 2023  
© Ryan Gander; Courtesy the artist, TARO NASU. Photograph by Ryan Gander Studio

#### 東京・大阪で人気を博した人気作も！

壁面に埋め込まれたマンガ風の目玉が観客の動きに反応してキョロキョロと動く《最高傑作》や、壁の穴から覗くネズミが皮肉たっぷりにおしゃべりする《2000年来のコラボレーション (予言者)》など、東京・大阪の個展でも展示され、ガンダーの醍醐味でもある遊び心と風刺が詰まった人気作がやってきます。



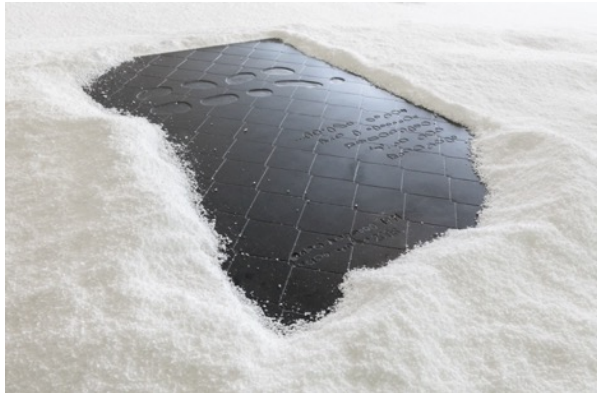
左《2000年来のコラボレーション (予言者)》2018 © Ryan Gander; Courtesy the artist and Künstlerhaus, Halle für Kunst & Medien, Graz. Photograph by Künstlerhaus, Halle für Kunst & Medien, Graz

右《最高傑作》2023 © Ryan Gander; Courtesy the artist and le plateau, frac île-de-france, Paris. Photograph by Martin Argyroglo

ライアン・ガンダー個展  
 「アイムジャストレストレッシング マイアイズ  
 (ちょっと目を休ませてるだけなんだ)」  
 2023年7月15日～開催  
 Press Release 2023年5月22日

### 懐中電灯を使って美術を鑑賞！

本施設の地下展示室では、照明のない暗闇のなかを、観覧者には懐中電灯で照らしながら鑑賞していただきます。「ディープにいこう！」というガンダーの言葉のとおり、地下の深い場所に身を置き、暗闇という未知の世界で作品を探し、発見することで、「見る」行為そのものを楽しみ深めます。美術館で壁にかかった絵を見る「鑑賞」とは一味違う、楽しい驚きを子供も大人も体験してみてください。



地下展示室で展示予定の作品

左《OUR TIME IS LIMITED - (Proposal for the grave of Vivi Enkyo)》※日本初公開 2018 © Ryan Gander; Courtesy the artist and Sydney Biennale. Photograph by Silversalt

右《The Observatory, or, it's not that it's bad, it's just that you're confused》2011 ©Ryan Gander; Courtesy the artist, Foundation d'entreprise Hermes, TARO NASU. Photo © Keizo Kioku

### コンセプチュアル・アートを日本の美が詰まった歴史的建築空間で堪能

福岡醤油ギャラリーは明治時代に建てられた主屋と昭和初期に建てられた「旧福岡醤油建物」を改修して誕生しました。建物は本瓦葺きや「福」の字を刻んだ軒丸瓦など独特な特色を多数有しています。明治から戦前にかけての歴史を現在に残す建物のおもしろさと、コンセプチュアル・アートの知的な遊びが不思議と融合します。



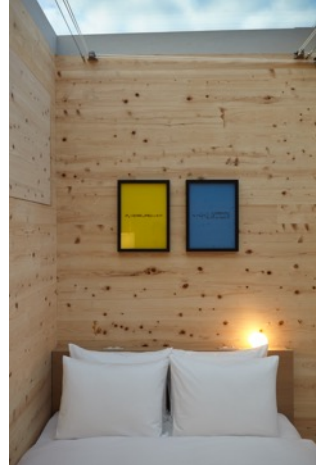
Photo : S.U.P.C uchida shinichiro

### アートエリア・瀬戸内でこの夏は、アート・建築・歴史を浴びよう

アートの島として世界的に注目される直島を中心とした瀬戸内の島々や、倉敷の大原美術館などにも近く、国内でもまれに見る文化資源の豊富な岡山市。また日本近代建築において重要な位置を占める前川國男氏設計による岡山県庁舎や、林原美術館等をはじめとした名建築、日本三名園のひとつである岡山後樂園など、さまざまな歴史・建築のみどころスポットが点在しています。2019年から当財団が展開する、現代アート作家と日本人建築家が協働して一つの建築作品をつく

り、1棟建ての宿泊施設として運営する「A&A(Artist&Architect)」。こちらのアートホテルでも現代アートと建築を楽しめます。

<https://a-and-a.org/>



「A&A リアムフジ」 (リアム・ギリック×原田真宏+原田麻魚/MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO) Photo: Yoko Inoue



「A&A ジョナサンハセガワ」 (ジョナサン・モンク×長谷川豪) Photo: Yoko Inoue

## 開催概要

**展覧会名：**Ryan Gander I'M JUST RESTING MY EYES

ライアン・ガンダー アイムジャストレストイングマイアイズ  
(ちょっと目を休ませてるだけなんだ)

**会期：**2023年7月15日(土)～11月26日(日) ※会期中作品の入れ替えはありません

**時間：**10:00～17:00 (16:30 最終入場)

**休館日：**月曜(祝日の場合は翌平日)

**会場：**福岡醤油ギャラリー (岡山市北区弓之町 17-35)

**入場料：**1,500円 ※小学生以下無料

**主催：**公益財団法人石川文化振興財団

**協力：**TARO NASU、CIFAKA

**企画：**アート&パブリック株式会社

**協賛：**イシカワホールディングス株式会社、株式会社イノウエホールディングス、株式会社イー  
ルドインテリアプロダクツ、宇野港土地株式会社、株式会社岡田商運、岡山神社、岡山トヨタ自  
動車株式会社、協同精版印刷株式会社、株式会社サピックス、山陽ヤナセ株式会社、株式会社サ  
ンヨープレジャー、シーアール物流株式会社、医療法人清水内科医院、SUENAGA Group、ダイ  
ヤ工業株式会社、太陽建設株式会社、株式会社デンシヨク、株式会社トミヤコーポレーション、

ナカシマホールディングス株式会社、ネッツトヨタ岡山株式会社、株式会社ビザビ、備商株式会社、備前自動車岡山教習所、ベルデ企画株式会社、株式会社マグリット、公益財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団、株式会社三井開発、モトヤユニテッド株式会社、両備ホールディングス株式会社

後援：岡山県、岡山市、一般社団法人岡山経済同友会、岡山商工会議所、山陽新聞社、RSK 山陽放送、OHK 岡山放送、TSC テレビせとうち、RNC 西日本放送、KSB 瀬戸内海放送、レディオモモ、株式会社電通西日本

一般のお問合せ先：福岡醤油ギャラリー TEL: 086-235-8020

### 関連プログラム

#### アーティストによる展覧会ツアー

日時：7月15日(土) 10:30～12:00

登壇：ライアン・ガンダー

会場：福岡醤油ギャラリー

費用：無料(当日入場券が必要)

定員：30名(先着順)

\*要事前申し込み

こちらのリンク <https://shorturl.at/absyM> か右のQRコードにアクセスしてお申し込みください。



### 本展に寄せたアーティスト・ステイトメント

私は展覧会というものを毎回楽しんでいる。見るという行為は、後ろめたくワクワクすることだと、来場者に感じさせるからだ。その場所にはいけないのかもしれない、そこで出会うものを見るのは自分だけに与えられた特権なのかもしれない、と。人生では、探し求めるという行為を通じて、経験はよりかけがえのないものに、その価値はより高くなる。幼い頃、はじめて新しいものを発見したときのように。畏怖の感覚、その奥には不安や不確かさが入り混じっている。

アートの最も愛おしい側面は、この発見と驚きの要素である。自分の思うままに、自らの行動によって、与えられたものでも誰かが声をあげたものでもなく、出会うものと思っていた予想をまさに覆すアートに遭遇したとき、私は喜びと興奮に包まれる。このような性質は、1960年代、70年代、80年代のアヴァンギャルド・アート・ムーブメント(前衛芸術運動)にはつきものであったのに、と不思議な気持ちになる。当然のごとく、アートは、リスクを取り、境界をなくし、驚きを与え、思いもよらないもの、他との類似を拒むものだった。そしてそれは今も変わらない。ルールに縛られない場所。不思議なもの、奇妙なもの、説明のつかないものが受け入れられ、探し求められる、社会で唯一の場所である。

1970年代のフラワーパワー・ヒッピー・ムーブメントにおいて、「深い(deep)」という言葉は、複雑で難しい厳密に考えつくされた観念や、理解の及ばないスピリチュアルな物事を意味していた。これは「浅い(shallow)」という、物事や考えに深みや厚みがなく、うわべだけの、知識や思考、感情、性質が薄っぺらいことを意味する言葉と対極にある。私はこの二項対立が気に入っている。「浅い」に対して「深い」。特に今、ここ10年にわたってアートの世界で起きた計り知れない変化を考えると、なおさらだ。



1990年代、2000年代、2010年代にかけて資本主義が加速し、ディストラクションエコノミー（関心をそらす経済）とアテンションエコノミー（関心経済）という2つの競合する経済が生まれた。この2つの経済に支配されたために、偉大な知の遺産である前衛芸術の多くが解体され、モチーフやシルエット、象徴などの芸術は、分かりやすいステレオタイプ……単純、陽気、かわいい、ゆるい、浅いものに置き換えられてしまった。

では、なぜ人間の条件に対処するといった、難しいがやりがいのあることから逃避するのか？ それは、上等なシタビラメのグリルとサラダではなく、マクドナルドのハンバーガーを食べること、あるいは、ジャック・タチの映画を鑑賞して夜を過ごすのではなく、ありきたりのストーリーが展開する低予算アクション映画を観るという選択に似ている。一体どの時点から私たちは、見栄えのよいもの、自分を楽しませるだけのもの、慣れ親しんだ物事を再確認することだけ選ぶようになったのだろうか？ なぜ私たちは次第に、世界（とアート）のなすがままにされることだけを望むようになったのだろうか。「アヴァンギャルド (avant-garde)」という言葉は、「時代に先駆けて」発生する概念を指すものの、私たち人間は概念的に後退しているように感じられる。知性は退化し、後退している。

「深い」ものではない芸術には魂が宿らないという思いはさておき、「深み」という概念にはいつも興味がそそられる。「アンダーグラウンド (地下)」という言葉は、そこに由来するのかもしれない。昔から、地下の物件は自然光が乏しいため割安である。だから、裕福でない人、社会の周縁に生きる人、ボヘミアン、リスクテイカー、アヴァンギャルドな人たちをひきつける。人類の知識や歴史、文化に対して、どれほど多くの独創的な貢献が地下で生み出されてきたことだろう。

この2つの概念を、地中のるつぼという展示の中にまとめている。これらは暗い地下空間で、行動する主体によって光を当てられる。暗闇は、私にとって未知の世界を表す。未知の世界は、受け入れるべきものであり、恐れるものではない。懐中電灯は、観客としての私たちの主体性、つまり私たちの選択、私たちの関心、私たちの探求と解明への衝動（浅瀬で落ち着くのではなく、「深み」を追求すること）を意味している。観客は展覧会を探索しながら、興味のあるものに対して、まさに文字通り光を当てると共に、その行為によって、他人にも自分の関心の方向を認識してもらうのである。

ディープにいこう。

ライアン・ガンダー

### プロフィール

#### ライアン・ガンダー Rayan Gander

1976年イギリス、チェスター生まれ。現在はロンドン、サフォークにて制作活動。

最近の主な展覧会に、2022年「われらの時代のサイン」（東京オペラシティアートギャラリー、東京）、2019年「The 500 Million Year Collaboration」（クンストハレ・ベルン、スイス）、2017年「この翼は飛ぶためのものではない」（国立国際美術館、大阪）、2016年「Make every show like it's your last」（アスペン美術館、アメリカ）など。「第54回ヴェネチアビエンナーレ」、「ドクメンタ(13)」、「第9回上海ビエンナーレ」「岡山芸術交流 2016」などの世界的な国際展にも多数参加。「ドクメンタ(13)」では、メイン会場の一つであったフリデリアム美術館一階のメイン展示室にて、何も展示されていない展示室のなかを吹き抜ける「風」を作品としたインスタレーションを発表し、大きな話題となる。

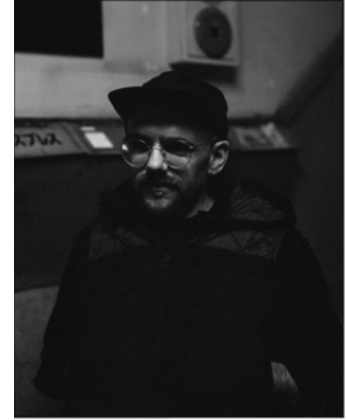


Photo credit : Kazushi Toyota

### 福岡醤油ギャラリーについて

醤油製造蔵や市民銀行の窓口として使われていた、明治と昭和初期に建てられた建物を改修し、2021年4月に岡山市に開館した文化施設。地域に親しまれてきた歴史的な文化資産を保存し、文化発信の場として活用することで、施設がまちに開かれ、人々が集い、新たな交流が生まれる場を提供することを目指しています。今後「福岡醤油ギャラリー」では年2回（春会期、夏会期）の展覧会を中心に、多様な文化プログラムを開催予定です。<https://fukuokashoyu.org/>



Photo : S.U.P.C uchida shinichiro



### 公益財団法人石川文化振興財団と石川コレクションについて

2014年に設立された公益財団法人石川文化振興財団は、文化、経済、教育への支援を通じて社会に高揚感を提供するとともに、未来を担う人々の教育に邁進したいとの想いのもとに設立しました。地元岡山に貢献するべく岡山市や岡山県など地域のみなさんと一緒に学び、成長できるような事業に取り組んでいます。

#### 近年の主な支援事業

【A&C】「A&C」は「Art&City」の略。岡山の映画館、美術館、神社等のパブリックスペースに、誰もが無料で鑑賞できる現代アート作品を長期間展示する試みを行っています。

【A&A】日本人建築家と世界的に活躍する現代アート作家がタッグを組んでデザインした宿泊施設を岡山に誕生させるプロジェクト。宿泊者の芸術への理解促進と、アートを楽しめる滞在型都市岡山への発展を目指します。

【岡山芸術交流】現代アート作品を岡山市内に展示する国際現代美術展で3年毎に開催される。日常でアートとふれあうことで様々な人が新しい価値観や想像力を養い、岡山の価値創造や地域活性化の一助となることを目指します。

【Imagineering OKAYAMA ART PROJECT】岡山市の「歴史まちづくり回遊社会実験」の一環として、2014年に石川コレクションを岡山市内に展示しました。

【オカヤマアワード】岡山の地域活性化と49歳以下の若手経営者の育成を目的に創設。岡山を拠点に幅広い分野で活躍する個人を10年間に渡り顕彰・助成しました。

【石川コレクション】2011年から石川康晴（公益財団法人石川文化振興財団 理事長）によるコンセプチュアル・アートを中心としたパブリックコレクション。国内外の作家の作品を多数蒐集し、2014年には東京オペラシティー(東京)で初めてのコレクション展「幸福はぼくを見つけてくれるかな?—石川コレクション|岡山|からの10作家」を開催。2019年にはMO.CO. Montpellier Contemporain(フランス・モンペリエ)の開幕展で「Intimate distance. Masterpieces from the Ishikawa Collection」を開催するなど、世界から注目を集めています。